

第4回高専IT教育コンソーシアム運営委員会・議事録

平成19年2月22日(木) 14時00分～17時30分

会場：東京都港区芝浦3-3-6 キャンパスイノベーションセンター
5階509 リエゾンコーナー

- 代表・陣内先生挨拶
- 機構・新田課長補佐挨拶
- 委員自己紹介
- オブザーバ：小川先生、清水先生、嶋先生の自己紹介

【IT教育企画・調査・研究部会報告】仲野先生

- アンケート調査について
フリーのLMS(XOOPS,Moodle)を使って、3月末位にアンケートを実施予定となっている。

【コンテンツ開発部会報告】金寺先生

- 平成18年度コンテンツ開発の状況について
 - ・メディア教育開発センターで開発されている「ソフトウェア開発におけるプロジェクト管理とプレゼンテーション」の開発に協力した。
 - ・国立高専機構より財政的に支援を受けた「数学自学自習用 e-Learning 教材の開発」(代表：苫小牧高専 村本)、「化学教育における理論と実験のためのインターネット学習教材の開発」(代表：阿南高専 一森)についての経過報告を行った。
- 平成19年度コンテンツ開発企画について
 - ・「数学・物理達成度試験関係の教材開発」(代表：苫小牧高専 村本)、「次世代高専教育ネットプロジェクト」(代表：高知高専 今井)の2件が承認された。
- 教育素材、教育財の登録依頼について
 - ・高専IT教育コンソーシアムとして、教育財も含めた形で、石川高専の高専間教育素材共有システムを運用していくことになった。

【教材流通部会】村本先生

- 高専IT教育コンソーシアムのリニューアルされたHPとメールマガジンについて
 - ・教材流通部会のメンバーで分担してHPとメールマガジンの発行をしていくことになった。
- ICT活用と個人情報保護について
 - ・情報収集し、メールマガジンなどで情報提供を行った。今後も継続して情報提供を行っていく。

【その他】

- 長岡技術科学大学の単位互換協定について
 - ・長岡技術科学大学のeラーニング高等教育連携(eHELP)の資料による説明があり、高専IT教育コンソーシアムとして、PR活動に協力していくことになった。
- 高専におけるNetCommonsの活用について
 - ・グループ課題探求型学習活動(PBL)の支援ツールとして、大変有用であるので、高専IT教育コンソーシアムの加盟校間での情報共有を進めていきたい。

●来年度の運営委員について

- ・専情委（高専情報処理教育研究委員会）と高専 IT 教育コンソーシアムは、それぞれ方向性が異なるが、高専における IT 教育の推進には両輪となっているので、専情委のオブザーバとして、高専 IT 教育コンソーシアムの運営委員長等が参加できるように要望していくことになった。

[運営委員]

| | |
|-------|-------------------|
| 陣内 靖介 | 北九州高専 校長 |
| 笹岡 久行 | 旭川高専 電気情報工学科 |
| 村本 充 | 苫小牧高専 理系総合学科 |
| 佐藤 浩 | 鶴岡高専 総合科学科 |
| 金子 淳 | 秋田高専 人文科学系 |
| 桜井 治男 | 群馬高専 電子情報工学科 |
| 須田 猛 | 茨城高専 物質工学科 |
| 仲野 巧 | 豊田高専 情報工学科 |
| 金寺 登 | 石川高専 電子情報工学科 |
| 片山 英昭 | 舞鶴高専 電気情報工学科 |
| 松尾 賢一 | 奈良高専 情報工学科 |
| 義永 常宏 | 徳山高専 情報電子工学科 |
| 勝浦 創 | 新居浜高専 生物応用化学科（欠席） |
| 今井 一雅 | 高知高専 電気工学科 |
| 豊平 隆之 | 鹿児島高専 情報工学科 |
| 白濱 成希 | 北九州高専 電子制御工学科 |

[オブザーバ]

| | |
|-------|--------------------------------|
| 小川 信之 | 岐阜高専 専門基礎（平成 16 年度現代 GP 代表者） |
| 清水 聖治 | 大島商船高専 商船学科（平成 18 年度現代 GP 代表者） |
| 嶋 直樹 | 沼津高専 電気電子工学科 |

[国立高専機構]

| | |
|-------|------------------|
| 新田 義純 | 国立高専機構 企画課課長補佐 |
| 赤岩 寛之 | 国立高専機構 企画課企画第一係長 |
| 阿部 亘 | 国立高専機構 学務課入学試験係長 |